

山行報告書

作成日：2008年1月6日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名(山域)	鳳凰三山(南アルプス)	目的(方法)	冬の大展望を楽しむ
期間	08/12/29から12/31	形態	テント泊
参加人数	6名		

行動記録

<1日目> 岡崎市民病院PKG出発(0338)==駒ヶ根SA休憩(0545)==葦崎ICを降りる(0715)==御座石鉱泉着(0800) 同出発(0830)--石空川分岐(0934)--1550m地点 休憩(1008)--七合目(1100)--旭岳(1150)--燕頭山(1255)--鳳凰小屋に到着(1545)--就寝(1900)

<2日目> 起床(0500) TS出発(0650)--地蔵岳山頂、オベリスクへ(0830) 同 出発(0900)--小屋へのショートカット分岐(0950)--観音岳山頂(1030)--薬師岳山頂(1115) 同 出発(1130)--観音岳山頂(1200)--同 出発(1215)--SC分岐(1230)--地蔵岳山頂(1325)--TSに帰着(1415) 就寝(1900)

<3日目> 起床(0430) 撤収、TSから出発(0655)--燕頭山(0825)--旭岳(0907)--七合目(0934)--石空川分岐(1035)--御座石鉱泉に到着(1120) 鉱泉に入浴(1150) 駐車場を出発(1305)==諏訪湖SAで昼食(1420) 同 出発(1500)==岡崎市民病院PKGに到着、解散(1715)

日誌



<12/29>

1台の車で6名乗車できるか心配だったが、ぎっしり詰め込んで市民病院駐車場からほぼ時間通りに出発。須玉ICで降りる所を、前席の二人が話に夢中で通り過ぎるというアクシデントはあったものの、道に雪はなく、予定通りに御座石鉱泉に到着。駐車場には他に6台ほど。

歩き始めて1時間ほどは落葉の上を歩く感じで滑りやすかった。しかも最初から急登で辛い。それが終わると雪がちらほら見られるようになるが、道が氷で覆われるようになった。

予定から30分遅れで鳳凰小屋に到着。既に2つテントがあった。テント設営を開始するが雪がさらさらで踏んでもなかなか固くならなかった。設置が終わるとさっそく宴会。夕食はご飯と汁物だけだったが、みんなが持参したおつまみが豊富だったので助かった。

<12/30>

5時に起床し、朝食のラーメンを食べる。軽装化してTSを出発。小屋脇の出だしでちょっと道を間違える。地蔵岳までは急登だが、雪が少ないのと荷が軽いのでどんどん登る。オベリスクにも挑戦してみたが、アイゼンでは危険そうなのでつべんに登るのは諦めた。今日も快晴で最高の展望。休憩して観音岳に向う。稜線上も雪は少なく、強風で砂埃が飛んで来る。途中、ソロの白人と自転車を担いだソロの人とすれ違う。外国人はともかく、MTBを持って登る人は初めて見た。観音岳では富士山が真正面に見える。N氏はここに残って、他のメンバーは薬師岳へ向い、写真を撮りまくってから往路を戻った。

<12/31>

テントを片付けて帰路につく。坂がきつくて何度も転んだが怪我なく御座石鉱泉まで戻れた。鉱泉で風呂に入る。諏訪湖SAで昼食。岡崎まで特に渋滞もなく順調に帰ることができた。

感想

今回の山行は、私にとって初めての本格的なテント泊での山行だったので、皆についていけるか心配でしたが、なんとか迷惑をかけずに終えることができました。山行中はずっと晴天で、富士山に八ヶ岳、甲斐駒と全ての山がとても綺麗でした。雪が少なかったのは残念でしたが、これだけ好天に恵まれた山行は本当に久しぶりでした。